

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 26 日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 奈良県橿原市飯高町69-3	
氏 名 株式会社中川組 代表取締役 中川 茂宣	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0744-25-8787	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社中川組
事業場の所在地	奈良県橿原市飯高町69-3
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 767,659千円
③ 従業員数	53人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	（解体工事） がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 （建設工事） がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）



各部署部長（産業廃棄物管理担当部長）



工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	排出量	5941.17 t	199.73 t	226.23 t	73.52 t
	(これまでに実施した取組)				
	出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	排出量	5500 t	195 t	220 t	70 t
	(今後実施する予定の取組)				
	工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	実施する予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
③その他	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	特に実施していない。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	5941.17 t	199.73 t	226.23 t	73.52 t
	優良認定処理業者への処理委託量	56.06 t	57.55 t	134.87 t	23.53 t
	再生利用業者への処理委託量	5941.17 t	199.73 t	226.23 t	73.52 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	5500 t	195 t	220 t	70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	60 t	140 t	25 t
	再生利用業者への処理委託量	5500 t	195 t	220 t	70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。				
※事務処理欄					

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）



各部署部長（産業廃棄物管理担当部長）



工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	排出量	140.21 t	13.51 t	1.14 t	0.147 t
	（これまでに実施した取組） 出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	排出量	130 t	11 t	1 t	0.1 t
	（今後実施する予定の取組） 工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	実施する予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
③その他	特に実施していない。				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	特に実施していない。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	140.21 t	13.51 t	1.14 t	0.147 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	120.71 t	t	1.14 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	13.51 t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	全処理委託量	130 t	11 t	1 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	125 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	11 t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。				
※事務処理欄					

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）



各部署部長（産業廃棄物管理担当部長）



工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	排出量	13.35 t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	排出量	12 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	実施する予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
特に実施していない。					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	特に実施していない。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	全処理委託量	13.35 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	13.35 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	全処理委託量	12 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。				
※事務処理欄					